



株主通信

第213期(中間期) 2020年4月1日～2020年9月30日

[証券コード:3106]

CONTENTS

株主の皆様へ	1
当社グループの事業概況	3
トピックス	5
サステナビリティ	7
財務情報	8
株式情報・会社情報	9
株主メモ	巻末

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社グループの第213期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発出され、様々な自粛や制限に伴い社会経済活動が停滞しました。その後、緊急事態宣言が解除され、徐々に社会経済活動レベルの引き上げの動きがありましたが、引き続き景気はきびしい状況で推移しました。

このような環境下にあって当社グループは、従業員やステークホルダーの皆様を安全・健康を最優先として新型コロナウイルスの感染拡大の防止、事業活動・生産活動への影響の最小化に努めるとともに、中期経営計画「Creation'21」の目標達成に向け

連結業績ハイライト

売上高



営業利益



尽力しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は561億円（前年同期比20.8%減）、営業利益は5億6千万円（同66.0%減）、経常利益は10億円（同59.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億7千万円（同78.7%減）となりました。

なお、当事業年度の中間配当につきましては、前事業年度と同様見送らせていただくことといたしました。

今後のわが国の経済情勢につきましては、新型コロナウイルスの感染状況が与える影響により、大きく変わるものと思われまます。また、自国第一主義や地政学的リスクが今後の経済情勢にどのような影響を与えるかについても予断を許さない状況です。

このような環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルスの感染状況に常に注意を払いながら、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した事業活動の

構築・推進を進め、中期経営計画「Creation'21」の基本方針に沿い、高付加価値ビジネスの拡大やR&D活動の推進と新規事業創出などに注力し、「長期ビジョン2030」で目指すべき姿と定めた「イノベーションと高収益を生み出す強い企業グループ」の実現に努めてまいります。

また、引き続きコーポレートガバナンス体制の充実を図るとともに、企業倫理や法令遵守の徹底、SDGs（持続可能な開発目標）への取組みなどCSR活動を推進し、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

取締役社長 藤田 晴 哉

経常利益

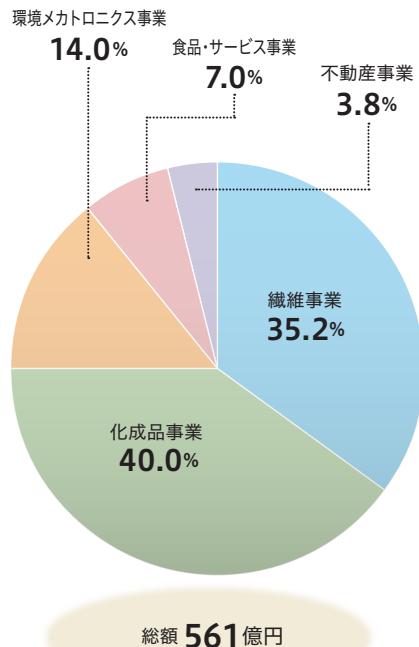


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



当社グループの事業概況

事業セグメント別売上高構成比率



繊維事業

原系分野およびカジュアル分野は、新型コロナウイルスの感染拡大による取引先の店舗休業や個人消費の低迷の影響を受けて、受注が減少し、減収となりました。

ユニフォーム分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた建設業および製造業向けユニフォームの販売不振により、受注が減少し、減収となりました。なお、抗菌・抗ウイルス機能素材の販売は好調でした。

海外子会社は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、ブラジルやタイの受注が減少したことにより、減収となりました。

この結果、売上高は197億円(前年同期比24.1%減)、営業損失は11億7千万円(前年同期は営業損失10億3千万円)となりました。

繊維事業

- 綿、合繊、その他素材の繊維製品(糸、織物、編物および二次製品)の製造・販売
- 綿、合繊織編物の染色整理加工



化粧品事業

自動車分野は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自動車メーカーの操業停止などの影響を受けて、国内外ともに受注が減少し、減収となりました。なお、中国の子会社は受注が回復しております。

機能樹脂分野は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、新たに開発した医療用ガウンの受注もありましたが、各種イベントの自粛に伴い販売促進用のクリアファイル用フィルムなどが低調で、また、半導体製造装置向け樹脂加工品も低水準で推移したことにより、減収となりました。

住宅建材分野は、2019年10月の消費税率引き上げや、新型コロナウイルスの感染拡大による新設住宅着工戸数の低迷の影響を受けて、減収となりました。

この結果、売上高は224億円(前年同期比19.4%減)、営業利益は1億4千万円(同58.0%減)となりました。

化粧品事業

- ポリウレタンフォーム、合成木材、無機建材、機能性フィルム、精密ろ過関連製品、高性能エンブラ製品、不織布および補強ネットの製造・加工・販売



環境メカトロニクス事業

エレクトロニクス分野は、コンピュータ・カラーマッチング・システムは堅調に推移しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、国内外の全般的な営業活動が停滞し、減収となりました。

エンジニアリング分野は、排ガス処理関係の環境装置が低調で、また、プラント関係の大型案件も少なく、減収となりました。

バイオメディカル分野は、2020年3月より販売を開始した新型コロナウイルス抗体検査試薬キットが好調に推移し、また、核酸自動分離装置も堅調で、増収となりました。

工作機械分野は、国内外ともに新型コロナウイルスの感染拡大に伴い設備投資が低調で、販売が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は78億円(前年同期比23.8%減)、営業利益は6億円(同43.2%減)となりました。

環境メカトロニクス事業

- エレクトロニクス関連製品の製造・販売・保守
- 環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電事業
- バイオ関連製品の製造・販売
- 工作機械等の製造・販売



食品・サービス事業

食品分野は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅勤務の継続や外出の減少による内食需要の高まりから、成型スूपやシリアル向けフリーズドライフルーツの販売が増加し、増収となりました。ホテル分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、宴会および宿泊のキャンセルが相次ぎ、また、2020年5月にホテル全館の臨時休業を行ったことや7月下旬より始まったGo Toトラベルキャンペーンの効果も限定的であったことから、減収となりました。

この結果、売上高は39億円(前年同期比12.4%減)、営業利益は5千万円(同84.3%減)となりました。

食品・サービス事業

- フリーズドライ食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所等の経営ほか



不動産事業

不動産事業は、売上高は21億円(前年同期比0.1%増)と前年同期並みとなり、設備の更新等による修繕維持費の増加により、営業利益は14億4千万円(同1.1%減)となりました。

不動産事業

- 不動産の賃貸

コーポレートサイトのご案内

>>> <https://www.kurabo.co.jp>

コーポレートサイトでは、会社案内やニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」を開設しています。

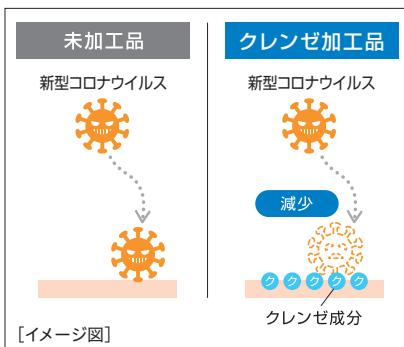
当社の開示資料を閲覧できる「IR資料室」、IR活動の日程をまとめた「IRカレンダー」など、株主の皆様のお役に立つ情報を提供しています。



繊維
事業部

“クレンゼ”の 新型コロナウイルスに 対する効果を確認

繊維事業部では、抗菌・抗ウイルス機能繊維加工技術“クレンゼ”を活用し、衣料、寝具、マスク用途などへの素材提供を行っております。“クレンゼ”は、繊維上に抗菌・抗ウイルス効果を持つ薬剤を固定化する技術で、繊維上にある特定の細菌の増殖を抑制し、また特定のウイルスの数を減少させることができます。



このたび、“クレンゼ”で加工した繊維に、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する抗ウイルス効果があることが確認されました。

“クレンゼ”加工を行った繊維上に新型コロナウイルスを一定時間接触させた後、回収したウイルスの感染価(細胞感染性を持つウイルス粒子の数)を測定した結果、新型コロナウイルスが99%以上減少したことが確認されました。また、家庭洗濯50回後でも同等の効果が確認されています。抗菌・抗ウイルス機能繊維加工技術“クレンゼ”による用途展開をさらに進め、安心・安全な暮らしをサポートすることに貢献してまいります。

試験概要

- (1) 試験機関：一般財団法人日本繊維製品品質技術センター
- (2) 試験方法：JIS L 1922繊維製品の抗ウイルス性試験方法 準用
- (3) 試験株：新型コロナウイルス(Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2(SARS-CoV-2))
- (4) 試験素材：織物(綿92%、ポリエステル8%)、ニット生地(綿100%)

化成品
事業部

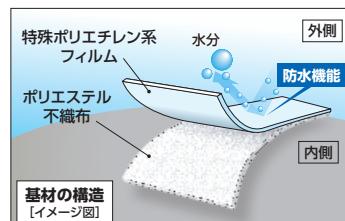
医療用 アイソレーションガウンを 販売開始

化成品事業部は、高い防水性を持つアイソレーションガウン(医療用ガウン)を開発し、本年7月から販売を開始しました。新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)をはじめ様々な感染症の診察などの際に使用される防護具は、液体などの浸透を防ぐための高い防水性が求められています。当社のフィルム押出ラミネート技術を生かして開発したアイ



アイソレーションガウン

ソレーションガウンは、防水性能AAMIレベル3※をクリアし、医療機関での診察や検査、看護など様々なシチュエーションでご使用いただけます。また、柔軟性があるフィルムを基材に使用しているためソフトで優しい素材となっています。アイソレーションガウンの販売を通じて、医療従事者の方の安心・安全に貢献してまいります。



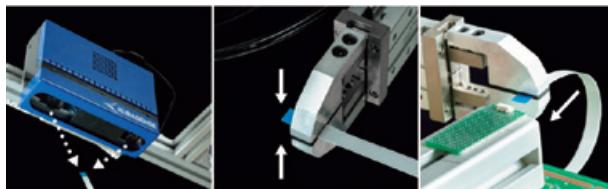
※AAMIレベル：米国医療機器振興協会が定める医療用ガウンなどの防水性能を4段階で示した基準で、数字が大きいほど防水性能が高くなります。AAMIレベル3の防水性能はほぼ浸透しないレベルです。

環境
メカトロニクス
事業部

[エレクトロニクス分野]

ケーブル配線を自動化する ロボットシステムの受注を開始

環境メカトロニクス事業部は、独自開発のロボット用高速3Dビジョンセンサーを用いた「フラットケーブル高速挿入ロボットシステム」の受注を本年10月から開始しました。近年、ロボットによる生産工程の自動化ニーズが高まっていますが、従来のロボットセンサーは形状の決まった物しか認識ができず、ケーブル配線作業など不定形な対象物を扱う作業工程を自動化することは困難でした。そこで、当社が保有する高速画像処理技術と計測技術を融合し、不定



①みる



②つかむ

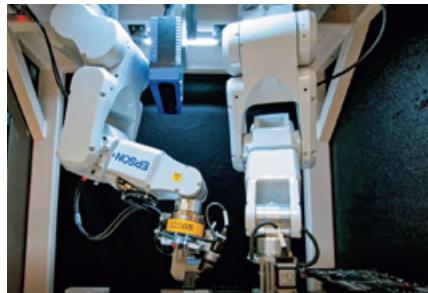


③さしこむ

形物の認識が可能な3Dビジョンセンサーを新たに開発し、産業用ロボットと力覚センサー※を組み合わせることで、電子基板上などでフラットケーブルをコネクターへ高速に挿入できるロボットシステムを開発しました。

このシステムにより従来は困難であった不定形物のロボットでのハンドリングが可能となり、電子機器の組み立て製造工程などにおける自動化の加速に貢献してまいります。

※産業用ロボットと力覚センサーは、セイコーエプソン(株)製。力覚センサーとは、微細な力を検出できるセンサーで、コネクターの挿入など力加減を要する工程の自動化などに用いられる。



フラットケーブル高速挿入ロボットシステム

ロボットシステムの
動画はこちらから



関係会社
クラボウケミカル
ワークス(株)

クラボウケミカルワークス(株)が 事業開始。 高機能樹脂加工品事業を拡充

化成品事業部は、2012年に熊本開発センター(現 熊本事業所)を開設し、半導体市場向け高機能樹脂加工品事業を推進しています。受注拡大などに伴い、より効率的な事業推進のため、高機能樹脂の加工を行っているクラボウ関西化成(株)と中国化成工業(株)を本年4月に合併し、新社名クラボウケミカルワークス(株)としてスター

トしました。

今回の合併によりクラボウグループの高機能樹脂加工品事業のさらなる強化・拡充を図ってまいります。



高機能樹脂加工品

クラボウケミカルワークス(株)の概要

発 足:2020年4月1日

資本金:1億円

所在地:広島県東広島市(本社・工場)、岡山県浅口市(工場)、大阪府寝屋川市(工場)

事業内容:●高機能樹脂の加工

- ポリウレタンフォームおよび自動車内装材モールド製品の製造・加工
- 合成木材・断熱材などの建材の加工・販売
- 断熱工事の施工・監理 など

財務情報

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)	科目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部			負債の部		
流動資産	77,483	69,571	流動負債	48,066	43,058
固定資産	88,058	89,008	固定負債	27,092	25,635
有形固定資産	52,320	52,170	負債合計	75,158	68,693
無形固定資産	1,233	1,292	純資産の部		
投資その他の資産	34,503	35,545	株主資本	90,689	89,923
資産合計	165,542	158,580	その他の包括利益累計額	△1,711	△1,300
			非支配株主持分	1,405	1,262
			純資産合計	90,383	89,886
			負債純資産合計	165,542	158,580

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)
売上高	70,892	56,173
売上原価	58,701	46,342
売上総利益	12,191	9,830
販売費及び一般管理費	10,531	9,267
営業利益	1,660	563
営業外収益	1,162	871
営業外費用	362	426
経常利益	2,459	1,009
特別利益	750	1,059
特別損失	174	821
税金等調整前四半期純利益	3,035	1,247
法人税等	991	864
四半期純利益	2,043	383
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△188	△91
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,232	474

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,230	2,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,025	△1,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,290	△2,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,105	△776
現金及び現金同等物の期首残高	19,169	18,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,064	17,943

株式情報・会社情報

当社の株式に関する事項 (2020年9月30日現在)

■発行可能株式総数	97,701千株
■発行済株式の総数	22,356千株
■株主数	15,443名
■大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,157	5.59
株式会社みずほ銀行	1,018	4.92
日本生命保険相互会社	920	4.44
株式会社三井住友銀行	793	3.83
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	762	3.68
株式会社中国銀行	726	3.51
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	559	2.70
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口5)	418	2.02
三井住友信託銀行株式会社	412	1.99
GOVERNMENT OF NORWAY	320	1.54

(注) ①当社は、自己株式1,666千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社グループの概要 (2020年9月30日現在)

当社

■創立 1888年3月9日 ■本店 岡山県倉敷市本町7番1号

■主要な事業所

区分	名称	所在地
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区
	東京支社	東京都中央区
	技術研究所	大阪府寝屋川市
工場	織維	安城工場 愛知県安城市
		徳島工場 徳島県阿南市
		寝屋川工場 大阪府寝屋川市
	化成品	裾野工場 静岡県裾野市
		群馬工場 群馬県伊勢崎市
		鴨方工場 岡山県浅口市
		三重工場 三重県津市
	熊本事業所 熊本県菊池市	

(注) 丸亀工場は、2020年5月末をもって閉鎖しました。

当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人) 4,233(△234)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー963人がおります。

当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	倉敷機械(株)
	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
	クラボウケミカルワークス(株)
海外	(株)倉敷アイビースクエア
	クラシキド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マングアル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
	広州倉福塑料有限公司

(注) ①上記記載の重要な子会社13社を含め、当第2四半期の連結子会社は24社、持分法適用会社は2社であります。

②クラボウ関西化成(株)と中国化成工業(株)は、2020年4月1日をもって合併し、クラボウケミカルワークス(株)に社名変更しました。また、クラボウケミカルワークス(株)は、当期から重要な子会社として記載することとなりました。

当社の取締役 (2020年9月30日現在)

代表取締役 取締役社長	藤田 晴哉	取締役 役員	藤井 裕詞
代表取締役 常務執行役員	北 島 篤	取締役 常勤監査等委員	岡田 治
代表取締役 常務執行役員	馬場 紀生	社外取締役 監査等委員	茂木 鉄平
取締役 常務執行役員	川野 憲志	社外取締役 監査等委員	新川 大祐
取締役 執行役員	本田 勝英	社外取締役 監査等委員	西村 元秀
取締役 執行役員	稲岡 進	社外取締役 監査等委員	谷澤 実佐子

(注) 社外取締役(監査等委員)茂木鉄平、新川大祐、西村元秀および谷澤実佐子の4氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

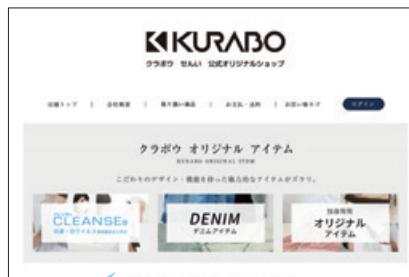
当社の執行役員 (2020年9月30日現在)

専務執行役員	佐野 高司	執行役員	中川 眞豪
常務執行役員	八木 克眞	執行役員	松井 一雄
常務執行役員	西澤 厚彦	執行役員	西垣 伸二
執行役員	相徳 朗人	執行役員	森重 潔
執行役員	平田 政弘	執行役員	黒澤 昭夫

クラブウせんい公式オリジナルショップ

KU-lab

【クラブ】



KU-lab WEBサイトトップページ



抗菌・抗ウイルス クレンゼ加工
クレンゼマスク



抗菌・抗ウイルス クレンゼ加工
タオルセット



洗濯機で洗える掛け布団
ランドリーム



デニムの裁断クズをアップサイクル
ループラスデニム・トートバッグ

こだわりのデザイン・
機能を持った
魅力的なアイテムを
ラインナップ!!

←
ほかにもいろいろ!
WEBサイトをご覧ください。

ご購入は



<https://ku-lab.jp/>



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日
 - (1)定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日
 - (2)中間配当金 毎年9月30日
- 公告の方法
電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <https://www.kurabo.co.jp>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。